

社会科学研究所 2005 年度春季合宿研究会（上海）の行程

村上 俊介

2005 年度春季合宿研究会は、社研プロジェクト「中国社会研究」と重ね合わせて、上海社会科学院との合同シンポジウムを軸として実施した。期間は2006年3月17日(金)より21日(火)、場所は中国上海市である。社研側参加者は合計 21 名（別表参照）。

今回の春季合宿研究会を実施する前に、社研プロジェクトの独自企画で2005年11月3日(木)より11月6日(日)まで、上海調査旅行を行っていた。参加者は11名、日程は以下のとおりである。

11月3日(木)

上海（小原）有限公司（自動車用自動溶接機製造）訪問と質疑応答

キャストコンサルティング（上海）有限公司（日系企業対象コンサルタント業）訪問と質疑応答

11月4日(金)

JETRO 上海訪問と質疑応答

みずほコーポレート銀行上海支店訪問と質疑応答

上海岡野服装有限公司（ベビー服OEM生産）訪問と質疑応答（上海浦東金橋加工区）

11月5日(土)

上海市内「巡検」（戦前の日本人街等）

上海社会科学院にて 2006 年 3 月実施予定共同シンポジウムに関する打ち合わせ

11月6日(日)

帰国

以上のような上海市の日本企業への訪問、聞き取り調査と並行して、上記の通り11月5日(土)に、柴田所長、村上事務局長、宮寄研究会担当、および上海社会科学院との仲介をしてくれた嶋根所員の4人で上海社会科学院を訪問し、2006年3月実施予定の春季合宿研究会実施について協力を要請した。協議・交渉での上海社会科学院の側の代表は、廬漢龍上海社会科学院社会发展研究院院長であった。そこで、きたる3月に①上海社会科学院で合同シンポジウムを行なう。費用は共同負担。②テーマを経済の分野2と社会分野2の4つに絞り、専修大学社会科学研究所と上海社会科学院から同じテーマで日本の現状と中国の現状を相互に報告する。③詳細については今後のやりとりで決定する一との基本合意に達した。その後は、湯進社研所員（大学院経済学研究科博士課程、中国からの留学生）を仲介してメールのやりとりをして準備を重

ねてきた。なお、同時に上海社会科学院には春季合宿研究会（上海）で、シンポジウムの後に訪問調査する企業などの選定および事前コンタクトもお願いし、上海社会科学院とりわけ廬漢龍社会発展研究院院長のご尽力で以下に記す企業あるいは街区委員会への訪問が可能となった。

上海社会科学院は、シンポジウム以外の調査訪問も「合同調査研究」として位置づけて廬院長をはじめ、何人かのメンバーの同行・協力を下さった。廬漢龍上海社会科学院社会発展研究院院長と上海社会科学院に、記して謝意を表したい。



「3月18日 上海社会科学院での合同シンポジウム、柴田所長挨拶」

日程

3月18日（土）

上海社会科学院との合同シンポジウム：「経済・社会の構造変容と諸課題—日本の現実・中国の現実」

午前の部（司会：鶴田俊正所員）

テーマ1：経済・産業構造の変容と企業システム

報告者：宮寄晃臣所員「IT/グローバルイゼーションと企業システム」

周 振華（上海社会科学院経済研究所副所長）「上海の経済発展
と構造調整」

テーマ 2：大都市建設と再開発

報告者：福島義和所員「日本のウォーターフロント開発の現実と課題

ー東京大都市圏川崎市を事例として」

曾 鋼（華東師範大学教授・資源環境科学院院長）

「上海市張江ハイテクパーク（南区）の発展計画と構想」

コメンテーター：平尾光司所員、

閻 加林上海改革発展委員会総合研究所副所長

午後の部（司会：羅 国振 上海社会学会副会長・華東師範大学副学長）

テーマ 3：階層構造の変容と格差問題

報告者：柴田弘捷所員（社研所長）「現代日本の階級、階層、格差問題」

廬 漢龍（上海社会科学院社会発展研究院院長）

「利益格差と社会システムの再構築」

テーマ 4：社会福祉問題と社会政策

報告者：唐鎌直義所員「日本における高齢者福祉政策の現状と課題」

彭 希哲（復旦大学社会発展と社会政策院院長）

「中国における高齢化社会と社会福祉制度の再構築」

コメンテーター：内田 弘所員、桂 世勛（華東師範大学教授）

3 月 19 日（日）

- ・上海豫園旅遊商城股份有限公司訪問、幹事長からのレクチャー（株式公開と所有制度改革）と質疑応答
- ・長寧区虹橋街道栄華住民委員会視察と地区委員・住民との懇談会（中国人と外国人の混住地区の特性）

3 月 20 日（月）

- ・上海松下プラズマディスプレイ有限公司訪問、副総経理からのレクチャー（工場立ち上げと経緯）と質疑応答



「3月20日 上海松下プラズマディスプレイ有限公司にて」

- ・上海産業移転諮問サービスセンター・川崎経済局上海連絡事務所訪問、総経理、川崎市連絡事務所主任との質疑応答

3月21日（火）帰国

専修大学社会科学研究所 2005 年度 春季合宿調査参加者名簿（上海）

2006 年 3 月 17 日～21 日

No.	氏 名	学 部	専 門 ・ 専 攻	備考
1	内 田 弘	経 済	「資本論」形成史	コメンテーター
2	大 西 勝 明	商 学	情報産業分析	
3	唐 鎌 直 義	経 済	社会保障	報告者
4	佐 藤 康一郎	経 営	マーケティング	
5	柴 田 弘 捷	文 学	産業・労働社会学	団長、報告者
6	嶋 根 克 己	文 学	社会意識論	
7	広 瀬 裕 子	法 学	教育政策分析	
8	宮 寄 晃 臣	経 済	日本経済論	報告者
9	村 上 俊 介	経 済	ドイツ近代社会思想史	秘書長
10	田 中 隆 之	経 済	財政金融政策	
11	望 月 宏	経 済	情報産業論・情報経済論	
12	加 藤 幸三郎	研究参与	近現代日本経財史	
13	儀 我 壮一郎	研究参与	国際経営論	
14	土 方 保	研究参与	現代日本の金融財政研究	
15	鶴 田 俊 正	研究参与	経済政策・産業構造論	司会
16	平 尾 光 司	経 済	企業論、金融システム論	コメンテーター, 17, 18 のみ宿泊
17	溝 田 誠 吾	経 営	中小企業論	17, 18 日のみ宿泊
18	福 島 義 和	文 学	都市経済地理学	報告者、前日 16 日より宿泊
19	王 国 敏	大学院生	溝田ゼミ	現地合流
20	施 錦 芳	特別研究員	本学経済学部大学院博士課程	現地合流
21	湯 進	経 済	アジア経済論	現地合流